

RPPC メールマガジン 第 714 号

リサイクルポート推進協議会（平成 30 年 2 月 21 日発行）

■先週・今週の報道発表

先週・今週の報道発表は特にありません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

1. NPO 法人山形県リサイクルポート情報センターのメルマガを添付いたしました。
2. リサイクルポート施策の高度化研究会 第 3 回研究会開催のご案内

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 来年度老朽化対策等の地方債拡充、港湾施設等 200 億円規模
2. 東京港新海面処分場、地盤改良や底面の深堀工実施
3. 「いわてポートセミナー 2018」を開催
4. 八代港大型クルーズバス整備、地盤改良等実施へ

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

第 3 回リサイクルポート施策の高度化研究会を開催いたします。

日時：平成 30 年 3 月 6 日（火）17:00～19:00（17:30～の変更の可能性があります）

会場：フクラシア丸の内オアゾ Hall B（丸の内北口ビルディング 16 階）

<https://www.fukuracia.jp/marunouchi/>

なお、研究会資料は各部会・PT 開催時に配布を予定しています。

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 来年度老朽化対策等の地方債拡充、港湾施設等 200 億円規模

総務省は来年度、地方公共団体が行う公共施設等の老朽化対策をは

はじめとした適正管理推進として、「公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業）」を増額する。新たに港湾施設の長寿命化を図る地方単独事業も対象とする。事業費は今年度比1300億円増の約4800億円を計上、このうち港湾関連への充当額は200億円規模が見込まれている。同事業の対象となる工事は、1件あたりの事業規模が2億円未満（市町村が港湾管理者の場合9000万円未満）の国庫補助事業の要件を満たさない改修工事。2月6日に同計画を含む平成30年度地方財政計画（地方団体の歳入歳出総額の見込み額に関する書類）が閣議決定されている。

公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業）は今年度に創設した制度で、これまでは道路・公共用建物等を対象としていたが、30年度は新たに港湾、河川等の長寿命化事業やユニバーサルデザイン化事業を対象に追加する。

このうち港湾施設については、水域施設、外郭施設、係留施設、臨港交通施設のうち、維持管理計画に基づく適切な維持管理を実施している施設が対象。

2. 東京港新海面処分場、地盤改良や底面の深堀工実施

東京都港湾局は新海面処分場の整備として、Dブロックの護岸で地盤改良を行うとともに、同ブロック底面の深堀工を進めている。

新海面処分場で現在、護岸等を整備しているDブロックは面積67ha。護岸の工事手順は、ケーソン設置予定下を深層混合処理工法で地盤改良した後、前面側をSCPで地盤改良。基礎捨石をしてから、ケーソンを据付け、前面側では砂岩ズリや被覆石を施工する。

一方、Dブロックでは処分場の容量を拡大し延命化する対策として、底面の深堀り工事も進めている。浚渫土砂は漁場改善として千葉市幕張沖の深堀箇所を埋め戻すのに活用。トレミー管を備えた専用船で土砂を受入れる工事は東京港埠頭が担当している。

3. 「いわてポートセミナー2018」を開催

岩手県は「いわてポートセミナー2018」を2月7日、東京都内で開催した。

達増知事が挨拶し、「世界を結び、未来を拓く、いわての港」と題してプレゼンテーションするとともに遠藤久慈市長、山本宮古市長、野田釜石市長、戸田大船渡市長が各港の詳細を説明した。

このうち大船渡港では永浜・山口地区のマイナス13m岸壁と7・5m岸壁が間もなく完成するほか、久慈港では平成40年度の完成を目指して湾口防波堤を整備している。港の安全性が高まることで企業の設備充実やPKS

(パームヤシ殻)の取扱量増加など利用の拡大が見られる。整備後は湾内に出来る広大な静穏域を活用した水産業の振興や再生可能エネルギーなど新産業の創出によって地域産業の振興や港湾利用拡大に弾みがつく。

.....

4. 八代港大型クルーズバス整備、地盤改良等実施へ

九州地方整備局熊本港湾・空港整備事務所は八代港(外港地区)岸壁築造工事で、岸壁本体となる部分の海底をSCP工法で概ね深度マイナス27mまで地盤改良する。対象水域は八代海の軟弱地盤層が堆積しており、地盤改良することで総コストの低減化を図る。また同工事では新設する岸壁の隣の既設護岸の前面に鋼管矢板や斜杭を打って補強する。同護岸部には係船柱を設けて大型クルーズ船の綱取り施設を整備することになっており、護岸本体の改良(補強)を行う。

八代港外港地区に新設する岸壁は、大型クルーズ船対応としてジャケット構造で耐震強化岸壁を整備することになっており現在、岸壁本体のジャケット製作、据付等を内容とする工事の入札手続きが進んでいる。

今回手続きに入った岸壁築造工事(第2次)は、同岸壁本体のジャケットを設置するにあたって、対象海域の海底を事前に地盤改良するもので、SCP工法で地盤を強化し大規模地震にも耐える構造に整える。

【港湾空港タイムス 18 年 02 月 19 日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長代行：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

ツネイシカムテックス（株）

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。